

# 倉掛公民館建設基金を創設

倉掛地区各組自治会長

平成13年度予算決まる

倉掛自治会  
予算総会

- ※かっこ内は世帯数
- 1組 (11) 片山 守三
  - 2組 (7) 北田 純志
  - 3組 (10) 妹尾 淑子
  - 4組 (5) 山岡 弘光
  - 5-1組 (13) 川相 本 弘男
  - 5-2組 (13) 柳本 俊樹
  - 6組 (14) 山岡 幸吉
  - 7組 (8) 山岡 健吉
  - 8組 (21) 掛橋 光夫
  - 9組 (8) 安原 泰三
  - 10組 (7) 三宅 妙子
  - 11組 (7) 三宅 優美
  - 12-1組 (9) 木村 太郎
  - 12-2組 (13) 岡本 耕 幸信
  - 13-1組 (7) 田原 幸利
  - 13-2組 (12) 渡辺 兼合
  - 13-3組 (17) 三宅 利勝
  - 14組 (13) 森河 上 裕史
  - 15-1組 (10) 河井 山岡 正淑
  - 15-2組 (9) 井山 戸井 友恭
  - 16組 (15) 戸井 森 孝志
  - 17組 (10) 河田 友泰
  - 18-1組 (8) 河田 友泰
  - 18-2組 (10) 森 孝志
  - 18-3組 (8) 小寺 政志

平成十三年度予算案を審議する  
各組自治会長ら5部機庫



中島自治連合会長の開会  
挨拶に続いて議題に移り、  
連合会新役員に川相弘光さ  
んと倉橋一郎さんの着任を  
報告。自治会費を据え置い  
た予算案説明を妹尾会計が  
行い審議の結果、満場一致  
で承認された。

本年度、井原地区交通安  
全推進活動を行うために求  
められる各戸負担金は、公  
民館活動費から捻出するこ  
とで合意。倉掛新聞発行補  
助金を広報活動費として予  
算計上した。

住民の建設意識を高める  
目的の倉掛公民館建設基金  
創設は、三月の決算総会で

## 広報活動費初計上

倉掛自治会の平成十三年度予算総会が四月七日、第五部消防機庫で開かれ、各組自治会長や民生児童委員ら約四十人が出席し、自治会費などの審議を行った。

# 倉掛新聞

《発行所》 倉掛自治連合会  
井原市井原町倉掛三  
井原市井原町倉掛三  
《編集》 倉掛自治連合会  
倉掛自治連合会  
倉掛少年団育成部  
倉掛消防分団第五

決議。このたびの予算審議  
で倉掛福祉協議会の蓄財か  
ら百五十万円を建設基金へ  
移すことを取り決めた。倉  
掛福祉協議会は従来どおり  
存続する。

中島自治連合会長は「公  
民館建設へ向けた第一歩」  
との見解を示している。

## 井原町が交通 安全推進地区

多彩な活動を計画

一年毎に町単位で持ち回  
りとなっている交通安全活  
動推進地区が井原市内を一  
巡し、平成三年に続いて井  
原町が二回目の推進地区と  
なった。

これは地域社会に交通安  
全思想を徹底させ、事故の  
ない安らぎのある郷土実現

## 江草さんに感謝状

滑り台修復で地域に貢献



感謝状を手にする江草敏夫さん

・江草敏夫さん  
の善意に対し、  
倉掛自治連合会  
は三月十七日の  
決算総会で感謝  
状と記念品を贈  
った。

昨年九月、郷社境内の滑  
り台を修復した倉掛十四組  
事故を心配する声も寄せら  
れていた。江草さんの手で

## 「皆様ご支援を」

倉掛婦人会新役員決まる  
支部長に竹田京子さん



左から山岡愛子さん、河田美恵子さん、竹田京子さん、妹尾美津恵さん、谷典子さん

を目標そうというもの。  
警察の全面的な協力を得  
る活動は、公民館組織が中

心となって住民大会や研修  
会、街頭指導など幅広く行  
われる予定。

敬老会をはじめ、地域に  
根ざした活動を行っている  
倉掛婦人会の役員が、四月  
より一新した。

竹田支部長は「国民年金  
の集金が今年から無くなっ  
て

- 倉掛婦人会役員
- 支部長 竹田 京子
  - 副支部長 河田美恵子
  - 文化教養 妹尾美津恵
  - 生活福祉 谷 典子
  - 保健体育 山岡 愛子
  - 会 計 山岡 愛子

## 総代長に 川相肇氏

本年度より郷社足次山神  
社の総代が倉掛・夏目共に  
各五人体制となり、総代長  
に倉掛の川相肇氏が就任し  
た。現役自治連合会長も従  
来どおり総代として名を連  
ねる。

- 倉掛地区の総代は次のと  
おり。
- 一組 川相 肇
  - 八組 大久保 格
  - 十組 安原 光夫
  - 八組 遠藤 生三
  - 十五・二組 中島 順三

## 県消防操法大会に出場

代表選手に第五部より、倉  
掛の川相謙治さんが指揮  
者、夏目の柳本兼志さんが  
3番員として選ばれた。  
現在、井原小学校グラウ  
ンドで週五日間、練習に取  
り組んでいる。

# 露店など賑わう 好天に人の列

## 忠魂碑前で戦没者鎮魂祭

郷社まつり



戦没者鎮魂祭の様相―郷社境内

春恒例の郷社まつりが四月四日に執り行われ、小田川堤や郷社境内の桜見物を兼ねた参拝客らが多数訪れた。

「郷社まつりも昔に比べて人出はやや少ない」といった声もちらほら。それでも午前十時を回る頃には、植木市で苗木などを買い求める人や、春休み中の子供達の姿が目立ち始め、境内に立ち並んだ約六十の露店も賑わいを見せた。

午後一時からは井原市の戦没者1379人の名前を

刻んだ忠魂碑前で鎮魂祭が行われ、市長代理をはじめ郷社役員や遺族会関係者ら

# 倉掛少年団員激減

## 育成会OBらが活動を支援

今年度の倉掛少年団活動が、郷社まつりの日の清掃作業から始まった。

学年	氏名	保護者
6年	佐能本 光洋	敏政
5年	坂野 佳幸	芳人
5年	野宮 周平	幹人
5年	野宮 拓士	好宏
5年	濱田 貴憲	吉文
5年	濱田 伸茂	憲弘
5年	井上 千智	美弘
5年	赤木 智美	奈香
5年	川上 珠実	里奈
5年	倉橋 沙耶	耶香
5年	佐能 羽衣	いづみ
5年	細森 千尋	斗光
5年	佐能 健	光
5年	西山 泰弘	泰弘
4年	丸山 丸山	丸山

学年	男子	女子	合計
6年	2	0	2
5年	7	6	13
4年	3	0	3
合計	12	6	18

今年度は団員数が昨年の三十二人から十八人、育成会も二十五人から十五人へと激減。特に、多くの人手と時間を要する清掃作業や廃品回収が従来どおり行えるか、関係者は不安を募らせている。

事態を深刻に受け止めた

# 消防機庫へ座卓寄贈

## 倉掛婦人会

倉掛婦人会が昨年度末、第5部消防機庫へ折りたたみ式座卓2台を寄贈した。自治会総会など四十人を超える会合の場合、これまでは古い木製の座卓も一部

使用していた。

倉掛自治連合会の中島会長や第5部の森兼部長は、「婦人会には機庫の備品充実に以前から配慮頂き本当に有り難い。大切に使用させて頂きます」と、感謝の意を表している。

育成会OBや倉掛自治連合会は、可能な範囲で活動を支援する方針を打ち出し、地域の人達にも協力を呼び掛けている。

# 池田富久さん 初優勝を飾る

## 倉夏ゴルフコンペ

倉夏ゴルフ同好会主催のコンペが四月八日、井原ゴルフ倶楽部で開かれ二十人が参加、快晴の下でプレーを楽しんだ。

優勝は夏目の池田富久さん。2位には、日頃から安定したプレーを見せている倉掛十五―二組の井上勝史さんが入った。

同好会長の山岡和男さんは「地域の同好会同士でゴルフを楽しむ会。初心者も気軽に参加下さい」と、入会を呼び掛けている。次回は十一月の予定。

## 〈倉夏ゴルフコンペ上位成績〉

氏名	O	I	G	H	N
①池田 富久(夏)	38	39	77	11.0	66.0
②井上 勝史(倉)	42	47	89	21.0	68.0
③西山 寛治(夏)	41	47	88	14.0	74.0
④柳本 忠男(夏)	47	45	92	18.0	74.0
⑤高原 繁(夏)	49	49	98	24.0	74.0
⑥倉橋 俊彦(倉)	48	49	97	22.8	74.2
⑦福井 義廣(夏)	41	41	82	7.2	74.8
⑧豊池 義秀(倉)	42	42	84	9.0	75.0
⑨毛利 章彦(倉)	51	57	108	32.4	75.6
⑩丸山 治人(倉)	40	39	79	3.0	76.0



時間を費やし過ぎる」との不安は、

今回の「思い出の一枚」は昭和六十二年二月一日、倉掛少年団レクリエーションで、県北の千屋スキー場へ繰り出した時のもの。この年度まで夏のキャンプは毎年、笠岡市神島外浦の神社で行われており、一年を締め括るに相応しい冬の行事をと協議した末に「雪遊び」を選択。当時の育成会長・川田昭典さんは「事故を心配する声も若干あった。しかし、育成会も含めて銀世界を見たいという声も圧倒的に多かった」と振り返る。

# 思い出の一枚

現地に到着した時の皆の歓声で吹き飛んだ。費用の関係でスキーこそ体験しなかったものの、そのりを使った遊びや雪合戦で親子共々存分に楽しめた。団員らはへとへとになるまで遊んで疲れ果て、お陰で帰りのバスは、まるで寝台列車と化した。

# 千屋スキー場で雪遊び 昭和61年度倉掛少年団育成会



参加した団員たちも今では24〜26歳の大人。既に親となつて子育て真っ最中の人も。という事は、写真の若き育成会員も、おじいさんやおばあさんになつた人がいる理屈だ。

年月の流れの早さを感じさせる懐かしい一枚です。(倉掛新聞編集委員会)